

死刑囚6人との対話が始まる。

死刑

を考える

『教誨師』上映会

教誨師

きょうかいし

大杉 漣

玉置玲央 鳥丸せつこ 五頭岳夫 小川 登 / 古館寛治・光石 研

教誨師とは、
受刑者の心の救済につとめ、
彼らが改心できるよう
導く人。



製作:TOBKICK★12 クイブクレーガーデン オフィス・シロウス
エグゼクティブプロデューサー:大杉漣 狩野洋平 押田剛将 | 製作プロダクション:オフィス・シロウス
配給:マーメイドフィルム コロアポアフィルム | 宣伝:VALERIA マーメイドフィルム / ©「教誨師」members
監督・脚本:佐向大

<http://kyoukaishi-movie.com/>

2025年

3月18日(火)

入場無料

開場 17:50 開演 18:20

開催場所 遊学館ホール

主催

山形県弁護士会

共催

日本弁護士連合会

東北弁護士会連合会

©「教誨師」members



教誨師とは……受刑者に対して道徳心の育成、心の救済につとめ、彼らが改心できるよう導く人。

わが国ではおもに諸宗教の聖職者がボランティアでその任にあたる。

なぜ、生きるのか。

牧師の佐伯は、半年前に着任したばかりの教誨師。彼が面会するのは一癖も二癖もある6人の死刑囚。真剣に思いを吐露する者もいれば、くだらない話に終始する者もいる。一方の佐伯は彼らに寄り添いながらも、自分の言葉が本当に届いているのか、死刑囚たちが心安らかに最期を迎えられるよう導くのは正しいことなのか苦悩する。その葛藤を通し、彼もまた自らの人生と向き合うことになる…。ほぼ全編が教誨室という限られた空間での会話劇ながら息つく暇もなく、時にユーモアを交えて展開される魂のぶつかり合い。次第に浮き彫りとなるそれぞれの人生、そして人間の本質。“死”の側からとらえた強烈な“生”の物語が誕生した。



自己中心的な若者
——高宮

おしゃべりな関西の中年女
——野口

お人よしのホームレス
——進藤

家族思いの気の弱い父親
——小川

心を開かない無口な男
——鈴木

気のいいヤクザの組長
——吉田

大杉漣、最初のプロデュース作にして最後の主演作

主演の佐伯に大杉漣。その膨大なセリフ量とユニークな内容ゆえ、「役者にケンカを売ってるのかと思った」と評した脚本を全身全霊賭けて体現、圧巻の存在感を見せる。対する死刑囚役に光石研、烏丸せつこ、古館寛治といったベテラン俳優や映画初出演となる劇団“柿喰う客”の玉置玲央らが扮し、限りある命を持つ者同士、激しい火花を散らす。監督、脚本は死刑に立ち会う刑務官を描いた『休暇』(08)の脚本を手がけた佐向大。

教誨師

大杉 漣 玉置 玲央 烏丸せつこ 五頭 岳夫 小川 登 / 古館寛治・光石 研 | エグゼクティブプロデューサー: 大杉 漣 狩野 洋平 押田 興将 | プロデューサー: 松田 広子 | 撮影: 山田 達也
照明: 玉川 直人 | 録音: 山本 つかあき | 美術: 安藤 真人 | 衣裳: 宮本 茉莉 | ヘア・メイク: 有路 涼子 | 編集: 藤本 一美 | 助監督: 玉澤 基平 | 制作: 古賀 泰一郎 | 監督・脚本: 佐向 大
製作: TOEKICK★12 ライブラリー・ガーデン オフィス・シロウズ | 製作プロダクション: オフィス・シロウズ | 配給: マーメイドフィルム コピアポア・フィルム | 宣伝: VALERIA マーメイドフィルム
きょうかいし 2018年 | 日本 | カラー | 114分 | スタンダード (一部、ヴィスタ) | ステレオ | ©「教誨師」members

<http://kyoukaishi-movie.com/>

プログラム

第1部：映画上映

第2部：弁護士会等の死刑に対する取組みの紹介

お問合せ先

山形県弁護士会事務局

☎ 023-622-2234